

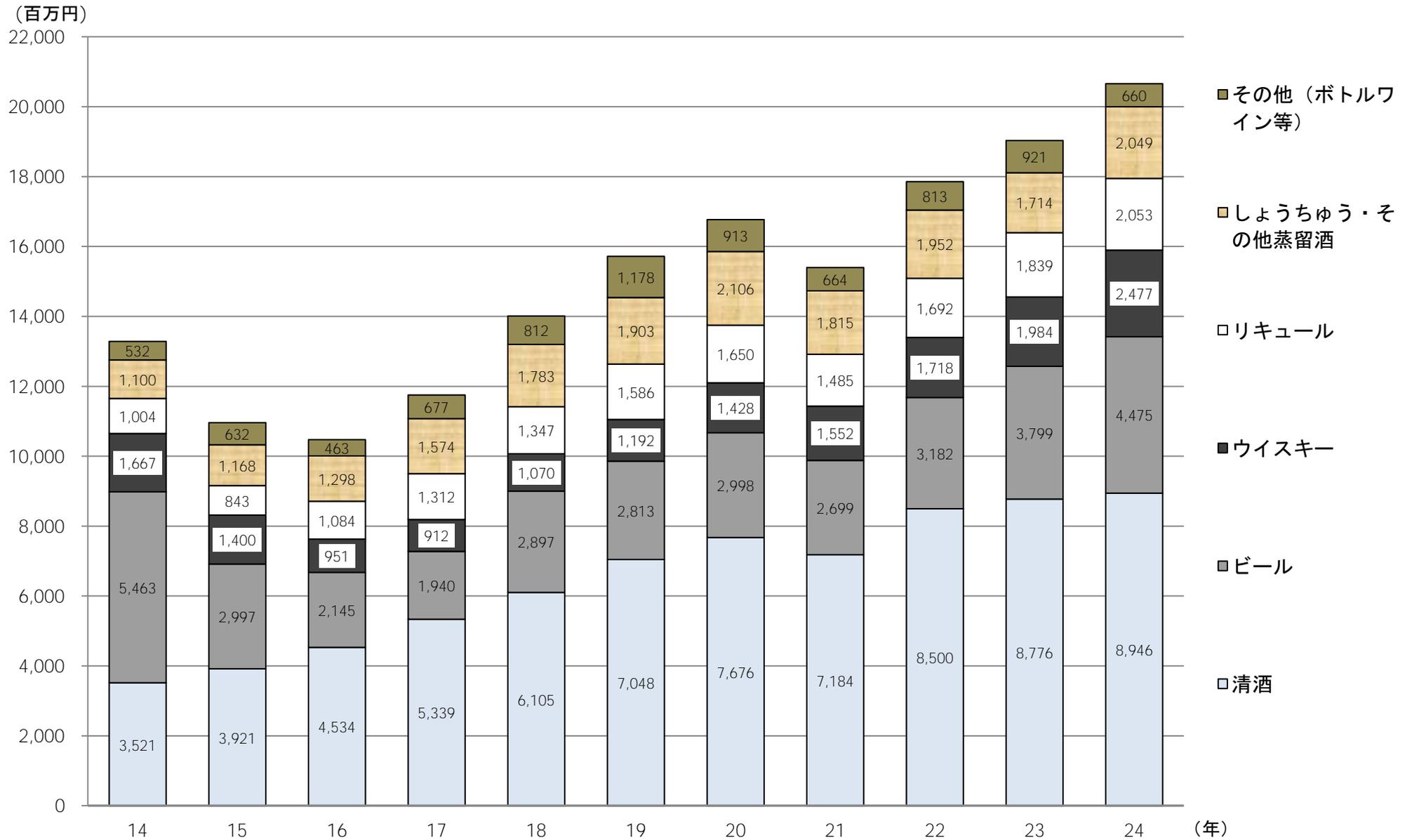
日本産酒類の輸出環境整備に関する 最近の取組

平成25年11月21日

国 税 庁

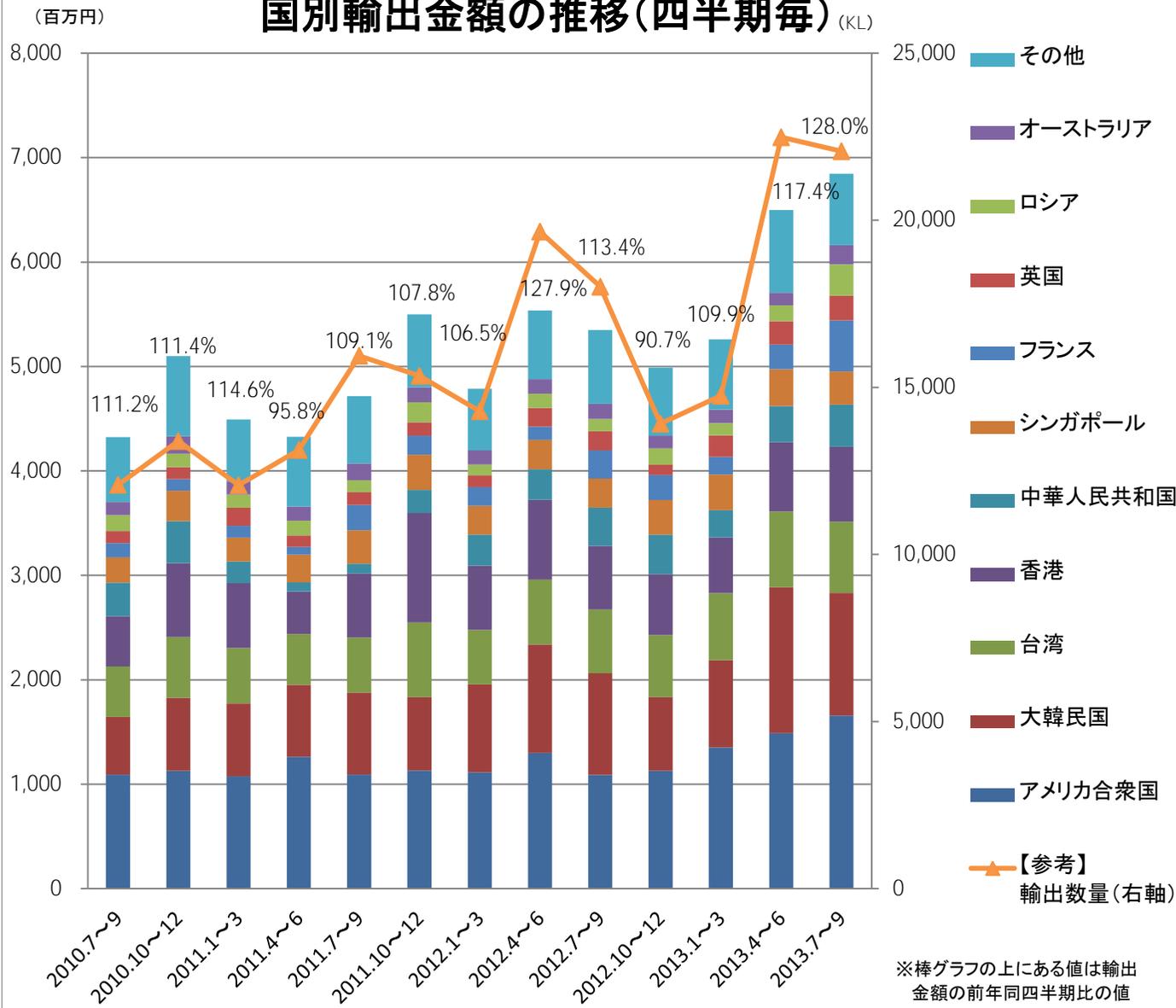
酒類の輸出金額の推移

○ 酒類の輸出金額は近年増加傾向（10年前の約1.5倍。清酒については約2.5倍となっている。）



(出典：財務省貿易統計)

国別輸出金額の推移(四半期毎) (KL)



累計金額上位10ヶ国

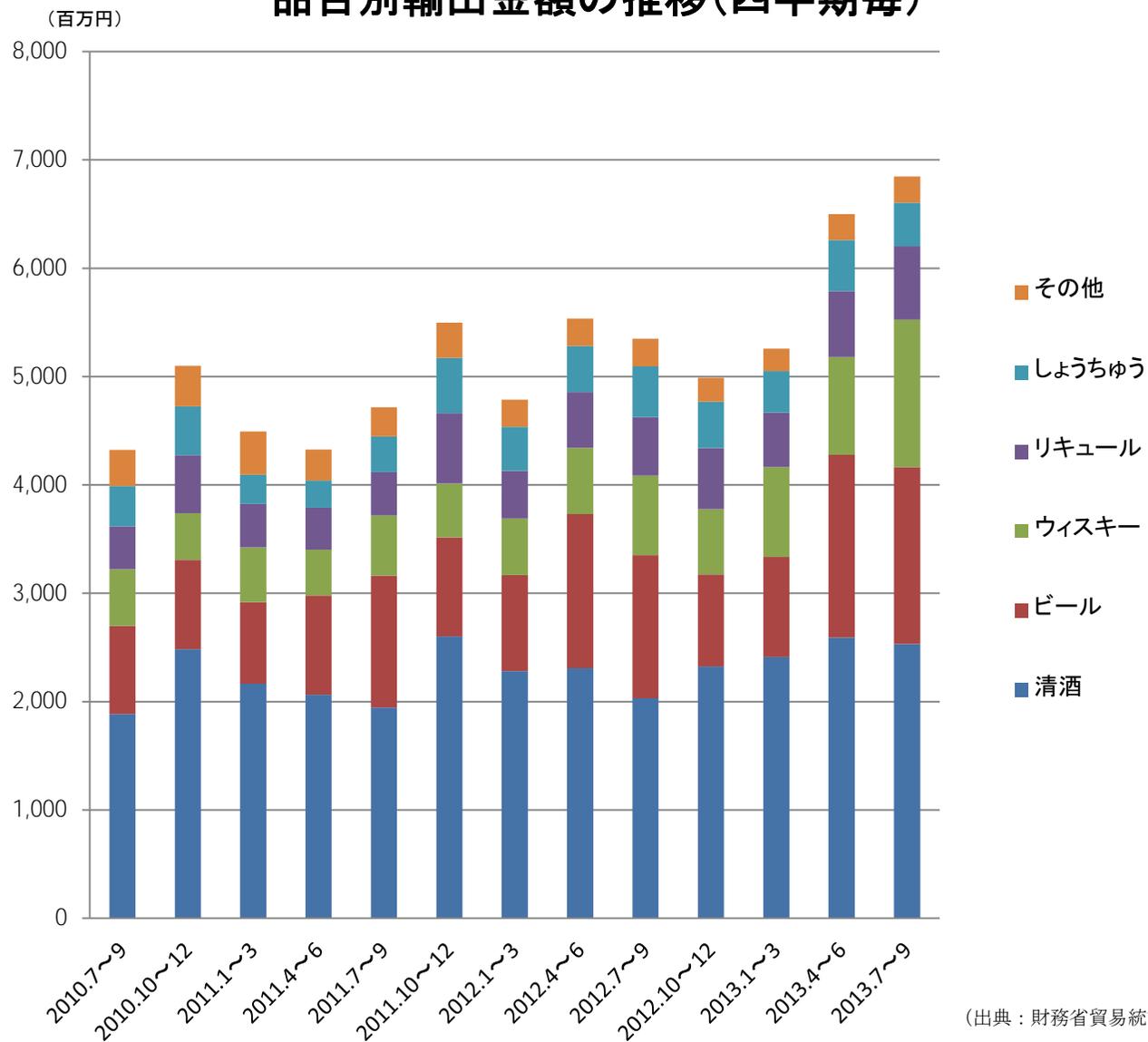
(単位:百万円)

国名	2013年1月～9月累計	対前年同期比
アメリカ合衆国	4,499	128.5%
大韓民国	3,409	119.4%
台湾	2,049	117.1%
香港	1,917	96.2%
中華人民共和国	1,010	106.1%
シンガポール	1,007	120.4%
フランス	899	155.9%
英国	664	140.1%
ロシア	569	161.0%
オーストラリア	434	102.8%
その他	2,146	109.7%
合計	18,603	118.7%

【2013年の特徴】

- 各国において対前年同期を上回っている。特に、フランス、英国など欧米向けの輸出が好調であり、欧米向け輸出は2013年第一四半期から第三四半期まで全ての期において前年同期比がプラスとなっている。
- 原発事故等の影響もあり、2011年は前年比6.6%増、2012年は同8.5%増に留まっていたが2013年に入ってから伸び率が増加傾向にある。

品目別輸出金額の推移(四半期毎)



品目別金額

(単位：百万円)

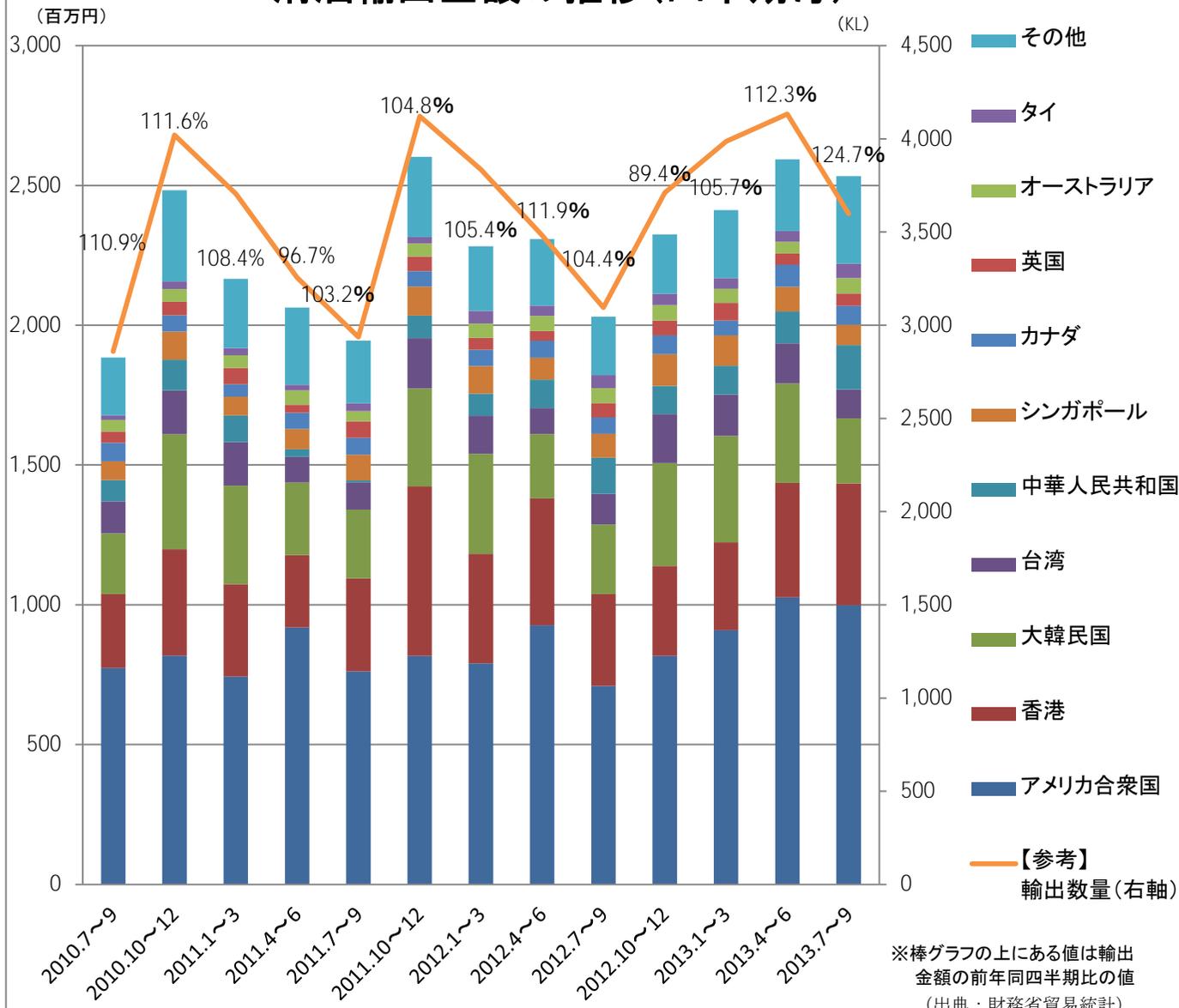
品目	2013年1月～9月累計	対前年同期比
清酒	7,538	113.8%
ビール	4,236	116.8%
ウイスキー	3,095	165.3%
リキュール	1,792	120.2%
しょうちゅう	1,254	96.3%
その他	688	90.9%
合計	18,603	118.7%

(注) 本品目名は、「貿易統計」の統計品目番号に基づき便宜的に分類したものである。

【2013年の特徴】

- 全体として前年同期を上回っている。特に、ウイスキーの伸びが著しいが、リキュール、ビール、清酒についても前年同期比で2桁の伸びを示している。
- ウイスキーはフランス、イギリス、米国など欧米向けが大幅に増加。また、ビールは韓国向けが好調。

清酒輸出金額の推移(四半期毎)



累計金額上位10ヶ国

(単位:百万円)

国名	2013年1月～9月累計	対前年同期比
アメリカ合衆国	2,935	120.9%
香港	1,158	98.7%
大韓民国	970	116.1%
台湾	394	116.4%
中華人民共和国	376	120.7%
シンガポール	270	103.0%
カナダ	200	112.5%
英国	149	115.5%
オーストラリア	146	91.8%
タイ	129	102.1%
その他	811	119.3%
合計	7,538	113.8%

【2013年の特徴】

- 全体的に対前年同期比がプラスとなっているが、特に米国及び東アジアで堅調な伸びを示している。
- 清酒は従来、第四四半期（10 - 12月）に輸出量が多く、その後第一四半期（1 - 3月）には減少する傾向があったが、2013年第一四半期は2012年第四四半期の輸出金額を上回っている。

輸出金額の増減の状況

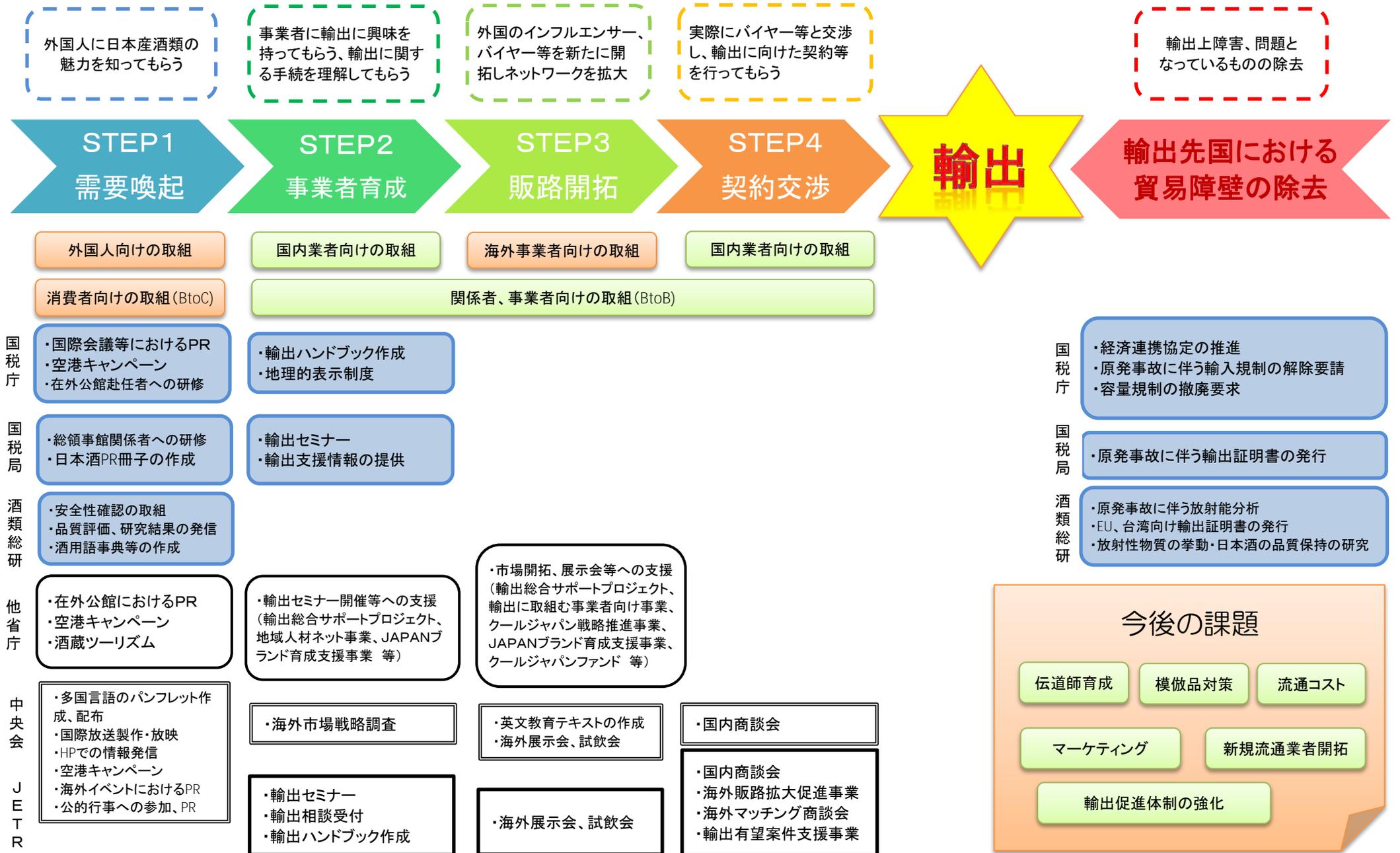
上段: 輸出先国
下段: 増減金額(千円)
カッコ内: 対前年同期比%

	全体	増加国（上位3カ国）			減少国（上位2カ国）	
		アメリカ合衆国	大韓民国	中華人民共和国	香港	オーストラリア
清 酒	—					
	916,933 (113.8%)	507,177 (120.9%)	134,728 (116.1%)	64,345 (120.7%)	▲15,813 (98.7%)	▲13,011 (91.8%)
ビ ー ル	—	大韓民国	シンガポール	アメリカ合衆国	香港	ロシア
	609,291 (116.8%)	414,182 (121.6%)	69,399 (135.5%)	50,915 (116.9%)	▲52,318 (71.0%)	▲10,378 (95.2%)
ウ イ ス キ ー	—	アメリカ合衆国	フランス	ロシア	香港	大韓民国
	1,222,244 (165.3%)	298,561 (326.7%)	297,874 (159.9%)	180,798 (266.6%)	▲16,336 (73.2%)	▲4,620 (74.5%)
リ キ ュ ー ル	—	台湾	アメリカ合衆国	シンガポール	オーストラリア	フランス
	301,224 (120.2%)	92,533 (121.3%)	59,271 (123.3%)	58,510 (142.3%)	▲39,818 (61.5%)	▲367 (92.9%)
し ょ う ち ゅ う	—	アメリカ合衆国	オーストラリア	—	中華人民共和国	香港
	▲48,260 (96.3%)	37,177 (117.3%)	897 (118.4%)	—	▲82,135 (79.9%)	▲19,062 (91.0%)

(出典: 財務省貿易統計)

※本資料は平成25年1月から9月までの輸出金額の合計額上位10カ国中、対前年同期比輸出金額の増加国、減少国を示している。

輸出までのステップと現在の取組



今後の課題

- 伝道師育成
- 模倣品対策
- 流通コスト
- マーケティング
- 新規流通業者開拓
- 輸出促進体制の強化

日本産酒類の輸出環境整備に関する最近の取組

1. 酒類業界への支援

- 酒類業関係団体との意見交換
- 酒類製造者等に対する輸出セミナーの開催
- 酒類製造者等に対する輸出支援情報の提供
- JETRO と共同で酒類製造者等向けの輸出ハンドブックを作成
- 日本酒造組合中央会における取組についての助言
 - ・ 日本酒造組合中央会は推進会議を立ち上げ、各種輸出促進方策に取り組んでいる。

2. 貿易障壁の撤廃・緩和に向けた働きかけ

- 東日本大震災後に導入された輸入規制の解除へ向けた働きかけ
 - ・ 国税庁及び（独）酒類総合研究所が実施した酒類等の放射性物質に係る分析結果並びに（独）酒類総合研究所の研究結果を科学的な説得材料として活用し、外務省等と連携して各国に働きかけ
 - ⇒ EU：規制解除（24年10月）
 - ブラジル：福島県産を除く規制解除（24年12月）
 - マレーシア：規制解除（25年3月）
 - ロシア：6都県産酒類に対する輸入停止措置の解除（25年4月）
 - ・ 今後も引き続き、輸入規制等の状況に応じ、関係府省との連携により、規制の解除・緩和に向けた働きかけを実施
- 米国、EUにおける蒸留酒の容量規制の見直しに向けた働きかけ

3. 国際イベント等への対応

- 各種国際会議等での日本産酒類の提供支援等
 - ・ サマーダボス会議ジャパンナイト（大連；25年9月）に国税庁職員を派遣
- 日本産酒類関連イベント等に関する在外公館への協力（講師派遣）
 - ・ Enjoy Washoku Reception（ロシア；25年4月）
 - ・ 醸造技術者等に対する日本酒セミナー（ドイツ；25年5月）
 - ・ 政府関係者等に対する日本酒セミナー（ポルトガル・スペイン；25年7月）
 - ・ 飲食業界関係者等に対する日本産酒類セミナー（オーストラリア；25年7月）
- 主要国際空港における日本産酒類キャンペーンの後援



4. 関係府省等との連携強化

- 各地域において、国税局と地方自治体・各省出先機関等を構成員とした輸出促進連絡会議を開催
- 外務省からの依頼を受け、在外公館へ赴任する大使等を対象とした日本酒に関する研修へ、国税庁より講師を派遣

